

今週のお祈り 復活前主日特待

人類を深く愛し、救い主、み子イエス・キリストをこの世に遣わされた全能の神よ、み子はわたしたちと同じ肉体を取り、己を低くして死に至るまで、十字架の死に至るまであなたに従われました。どうかわたしたちに恵みを与えて、み子の苦しみの模範に従わせ、またそのよみがえりにあずかせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外245

発行日
2025年
4月13日

今日は棕櫚の主日。イエス様のエルサレム入城を人々がシュロの枝を振って歓迎したことを記念しています。その同じ人々が週の後半にはイエス様を十字架につけろと叫びました。心に留めて聖週を過ごしましょう。

今週の聖書 ルカによる福音書 23:33-49

33 「されこうべ」と呼ばれている所に来ると、そこで人々はイエスを十字架につけた。犯罪人も、一人は右に一人は左に、十字架につけた。34 「その時、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか分らないのです。」人々はくじを引いて、イエスの衣を分け合った。35 民衆は立つて見つめていた。議員たちも、嘲笑って言った。「他人を救ったのだ。神のメシアで、選ばれた者なら、自分を救うがよい。」36 兵士たちもイエスに近寄り、酢を差し出しながら侮辱して、37 言った。「お前がユダヤ人の王なら、自分を救ってみろ。」38 イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王」と書いた罪状書きも掲げてあった。39 はりつけにされた犯罪人の一人が、イエスを罵った。「お前はメシアではないか。自分と我々を救ってみろ。」40 すると、もう一人のほうがたしなめた。「お前は神を恐れないのか。同じ刑罰を受けているのに。41 我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」42 そして、「イエスよ、あなたが御国へ行かれるときには、私を思い出してください」と言った。43 するとイエスは、「よく言っておくが、あなたは今日私と一緒に楽園にいる」と言われた。44

すでに昼の十二時ごろであった。全地は暗くなり、三時に及んだ。45 太陽は光を失っていた。神殿の垂れ幕が真ん中から裂けて



聖書からのメッセージ

「支えられているいのち」 主教 高橋 宏幸

十字架に磔にされているイエス様の両脇に、二人の犯罪人が同じように磔にされています。一方は、イエス様を罵り、侮辱し、イエス様を利用しようとさえしています。もう一方の犯罪人は、イエス様に向かって悔い改めを言い表しています。

そして、イエス様に願います。「イエスよ、あなたの御国においてになるときは、わたしを思い出してください!」と。すると、イエス様はおっしゃいます。「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と。呪いの徴と思われていた十字架の上で、想像を絶する事が起こったのでした。最後の最後でイエス様と出会い、救いをいただきました。

た。46 イエスは大声で叫ばれた。「父よ、私の霊を御手に委ねます。」こう言って息を引き取られた。47 百人隊長はこの出来事を見て、「本当に、この人は正しい人だった」と言って、神を崇めた。48 見物に集まっていた群衆も皆、これらの出来事を見て、胸を打ちながら帰って行った。49 イエスを知っていたすべての人たちと、ガリラヤから従って来た女たちとは遠くに立つて、これらのことを見ていた。